



曹洞宗 源溪山長安寺 寺報〔NO.148〕

# “源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/>

令和4年10月④

住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



## ◆仏教では“中道”



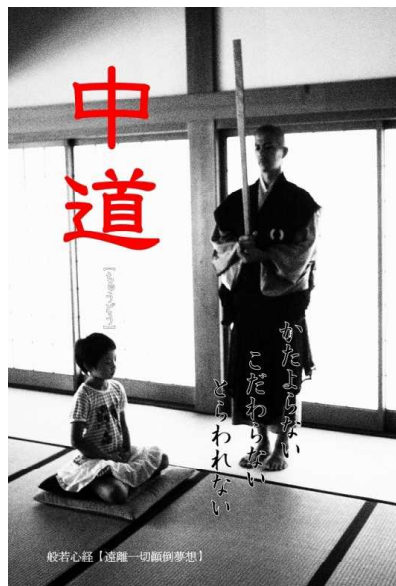
「行動」と「熟考」。  
そのあいだで上手く  
バランスを取らな  
てはいけません

エリザベス2世



70年にわたり君主の座にあったエリザベス女王が亡くなられ、その葬送の様子が詳しく伝えられました。歴史書に残る大きな出来事にかかわることはもちろん、国民あるいは家族とのふれあいなどからもエピソード多々あり、その中で、名言もたくさん残されました。

バランスを取るということは、仏教では「中道」とつながると思います。中道とは偏った両極端ではない中間



の道と仏典に出てきます。執着をなくしこだわりのない生き方と紹介されることもあります。「中庸」という言葉もあります。これは儒教の考えですが、いずれにしても、中途半端とか、いい加減、どっちつかずといったマイナスイメージの言葉で無いことは当然

で、その教えを実践することは、たやすいことではないと考えます。

蛇足ですが、エリザベス女王に続き報じられた最近の訃報でおやっと思ったことがあります。

曹洞宗大本山総持寺で開覚院機魂寛道居士との

戒名をいただかれたアントニオ猪木氏。総持寺には猪木家の墓所もあるようです。

落語家の三遊亭楽太郎師匠の戒名は、泰通圓生上座。上座とは、得度をして僧侶としての位階をお持ちであるということです。

さらに安倍晋三氏の実家の菩提寺は長安寺だとか。山口県にある浄土宗寺院だそうです。

## ◆「トイレの神さま」ならぬ・・・

今から12年前の平成22年、「トイレの神様」という歌



鳥枢沙摩明王

がヒットしました。シンガーソングライター植村花菜の作品で、老若の世代を越えて受け入れられました。

トイレの神さまの正体という「鳥枢沙摩明王(うすさまみょうおう)」という名も多くの人に知られました。

先日、あるお宅で古い湯殿を取り壊すということで、その作事法要をお勤めしました。その昔、賓客がお使いになったという一間半四方の独立した建物でした。

僧堂では入浴も修行のひとつ。入浴前後には、浴室の守り本尊として祀られている「跋陀婆羅菩薩(ばっだばらぼさつ)」の前で入浴の偈をお唱えしお拝をします。



跋陀婆羅菩薩

跋陀婆羅菩薩は、お風呂の供養を受けた際、自己と水が一如であることを悟ったと、經典に記されています。お湯をかき混ぜる櫛を持っている姿が特徴です。

この度、取り壊された湯殿には、床柱や床の間のあたる脱衣室がありました。その雰囲気から、もしかしたら跋陀婆羅菩薩が祀られていたかもしれないと感じました。